



徳島県立中央病院 患者支援センター

770-8539 徳島市蔵本町1丁目10-3

<http://www.tph.gr.jp/>

電話 088(631)7151

FAX 0120(631)715

mail: chiiki@tph.gr.jp

県立中央病院もやっていますよ！脊椎内視鏡手術

整形外科 小坂浩史

近年、医療のどの分野においても低侵襲治療・低侵襲手術という言葉が日常よく耳にするようになりました。整形外科領域においても、私のLife workであります脊椎外科領域においても然りです。今回ご紹介する脊椎内視鏡手術も脊椎外科領域低侵襲手術の1つです。

脊椎内視鏡の歴史は1990年代後半から本格的普及と、ほかの膀胱鏡、関節鏡などに比べると比較的最近のものであります。当院には、私が転勤して参りました2年前より脊椎内視鏡が導入されております。

脊椎内視鏡手術は全身麻酔で腹臥位、約2cmの皮切で直径18mmの円筒形レトラクターを設置しその中で手術を行います。そのため体型にかかわらず、いや、ストレートに言いますと肥満や筋肉隆々で通常のオープン手術では展開さえも大変と思われる人でもこの脊椎内視鏡手術では設置するレトラクターは同じですので、2cmの皮切で手術が可能です。これも大きなメリットです。おもな適応疾患は腰椎椎間板ヘルニア、腰部脊柱管狭窄症です。しかし圧倒的に椎間板ヘルニア症例が多いです。この2年間で脊椎内視鏡手術を腰椎椎間板ヘルニア48例、腰部脊柱管狭窄症4例に行っております。ほとんどのケースで術後創部Freeになります術後7~10日で自宅退院されております。早い場合術後3日目で退院されたケースもありました。

腰椎椎間板ヘルニアは若年者、スポーツ愛好家、力仕事に従事している方に多く、神経圧迫の原因は突出したヘルニアです。そのため手術の目的はヘルニアを摘出することですので椎弓という腰椎背側部分を少しだけ削りヘルニアを摘出します。通常手術時間は1時間15分です。当院では初回ヘルニアだけでなく、再発ヘルニアに対しても脊椎内視鏡手術を行っております。

もう一つの適応疾患の腰部脊柱管狭窄症は変性疾患であり、黄色靭帯の肥厚や骨棘により神経が圧迫され坐骨神経痛や間欠性跛行などが出現します。そのため狭窄症の場合ヘルニアと異なり十分神経の除圧を行う必要があります。しかも通常両側から圧迫されています。そのため同じ1椎間でも腰椎椎間板ヘルニアに比べると手術時間が長くなります(約1時間45分)。そのため腰部脊柱管狭窄症に関しては1椎間除圧の場合でも内視鏡手術、通常のオープン手術のメリットデメリット両方お話しして最終的な手術方法を決定しております。

通常のオープン手術であれば5cm以上皮切が必要ですが脊椎内視鏡では2cmでできます。また筋肉のダメージも最小限です。そのため全身麻酔の手術ではありますが翌日から歩行可能であり、入院期間の短縮、そして早期復業・復職が期待できます。

このように脊椎内視鏡手術は非常にメリットの多い低侵襲手術です。もし腰椎椎間板ヘルニア、腰部脊柱管狭窄症と思われる症状でお困りの患者様がおられましたら是非ご紹介ください。診断から治療まで私たち整形外科スタッフ一同責任をもって治療に当たらせていただきます。また脊椎疾患は、急速な麻痺の進行、膀胱直腸障害などは場合により緊急手術の適応もございます。これは危ないぞと思う症状がございましたらすぐご連絡ください。よろしくお願いたします。

E-ナース院内研修のお知らせ



① 『患者さんに寄り添ったストーマ管理』

講師：越田 貴美子 氏（金沢大学附属病院 皮膚・排泄ケア認定看護師）

日時：平成29年9月20日（水）17時40分～18時40分 場所：当院3階 会議室2

② 『看護マネジメントの基礎～新人から持ちたい管理意識～』

講師：土肥 加津子 氏（新須磨病院 看護部長）

日時：平成29年10月4日（水）17時40分～18時40分 場所：当院3階 会議室2

*院外の方も参加可能です。

問い合わせ先：088-631-7151 徳島県立中央病院 患者支援センター 有馬

看護局 専門分野研修会のお知らせ

① 『1型糖尿病の治療、急性合併症・災害と糖尿病』

担当：徳島大学 黒田暁生氏、徳島県立中央病院 糖尿病・代謝内科 白神敦久氏

日時：平成29年9月22日（金）18:00～20:00

場所：徳島大学病院 西外来棟1階 栄養部集団栄養指導室

② 『子どもの急変対応 新生児/小児シミュレーション』

担当：小児救急看護認定看護師 諏訪知穂氏・新生児集中ケア認定看護師 小川美和氏

日時：平成29年9月22日（金）17:45～18:45 場所：当院3階 講堂

③ 『脆弱な皮膚へのケア ターミナル期の褥瘡予防、浮腫』

担当：皮膚・排泄ケア認定看護師 小松美智子氏・緩和ケア認定看護師 三木恵美氏

日時：平成29年10月3日（火）18:00～19:00 場所：当院3階 講堂

*院外の方も参加可能です。事前申込みは必要ありません。

問い合わせ先：088-631-7151 徳島県立中央病院 看護局次長 宮本

医療機器共同利用のご案内

検査技術科では、超音波機器を地域の検査設備としてご利用いただくため、腹部エコーの受託検査のご依頼をお受けすることとなりました。

受託検査では、医師の診察、検査の診断はせず、検査のみをご依頼いただくこととなりますので、保険診療には該当いたしません。情報提供書を添えてご依頼頂くと、検査所見と撮影した画像のみ（原則としてCD-R、あるいはDVD-R）を送付致します。詳しくは下記までお問い合わせください。



問い合わせ先：検査技術科（内線 2531）、または医事企画担当（2701）



徳島県立中央病院

TOKUSHIMA PREFECTURAL
CENTRAL HOSPITAL

《報告》

皆様のおかげをもちまして、

平成29年7月

初診紹介率 85.3%、逆紹介 178.7%

今後も地域医療連携推進に努めます。何卒よろしくお願ひ申し上げます。